京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金六十錢▲新聞欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久神一馬
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町十一番地

寄書

スカンヂナビヤ一年間の見聞（八）

在瑞典ストックホルム　三浦彌五郎

▲丁抹の夜半開店　丁抹の首府コーペンヘーゲンは人口四十二萬を有し之をストックホルムの三十四萬、クリスチアンャの二十三萬に比すれば著るしく多數にして且つ自國の人口の六分の一を占む自ら號して北方の都會と稱するも其故ありと云ふべし市の性質又世界的にして料理店カッフエーの如きも夜半より開店するものあり其のナポリーと稱する同市の淺草の如きは建設の日古くして各種遊戯の設備悉く皆完備せりコーペンヘーゲンとは商港の義なれども傍に軍港もあり其の次に自由港を有す、同港の地位は實に波羅的海とカッテガット、スカゲラック及北海とを連結する要衝を占め今日も猶昔日の如く北歐通商の集散點たり。

▲諾威人の平均壽命　スカンヂナビヤ三國人の內諾威人の平均壽命は世界各國人中最も長し是れ一には天然の狀態人の健康に適するものあるに由ると雖も亦其の衛生設備、市街村落の掃除、節酒制度、体操遊戯、醫療運動、森林の保存、暖室設備等の行屆き居るに由らずんばあらず、尤も冬期中は暖めたる室內に一家多人數群居するが故に肺病患者は他の病氣に比し多き趣にて瑞典に於ても肺病患者の病院及保養所は嚴に他と區別し百方其の撲滅に盡力し居れり、變死者自殺者は極めて小なく之を年々三萬に達する變死者、一萬內外に上る自殺者を出して世界の自殺國とも稱し得べき我國に比すれば殆んど絶無と云ふことを得べし。

▲普通教育と通俗教育　普通教育、通俗教育の如きも最も行屆き通俗教育に付ては政府は補助を與へ一年內に各地にて爲すべき講演題目を指定し無料又は極めて僅少の會費にて一般人民特に勞働者に講話を聽かしむ、普通教育は人口稀薄にして村落遠く相距り居る國柄なるが故に巡回教授の方法最も進歩せりクリスチアンャにては啻に小學校は無月謝なるのみならず貧民の子弟には市費にて晝食を給與す蓋し人口少なきが故に各個人の性質を完全にして[illegible]の不足を補はんとするの着眼に外ならず体操及運動は男女共に盛に之を行ひ特に冬期氷雪を利用する運動の著るしく發達せることは後に之を述ぶべし從て當國人の身体の長大強健にして各部の一樣に發達し居ることは當國に來りたる我一軍醫の賛歎したる所なり又監獄、育兒院、姙婦の分娩所、棄兒收容所、貧民病院の如きは一には人口の少なきにも由るべしと雖も其の設備殆んど模範的に近しと云ひ得べし學術技藝の如きも或る點に於ては著るしき進歩を示せり。

▲日瑞兩國の寸燐戰　ダイナマイトは瑞典人ノーベル氏の發明に係りマッチは瑞典ストックホルム工業學校教授パッグ氏が千八百四十四年の頃之を發明し同年ヨンチョッピング市に於てランドストルーム氏初めて其の製造所を建設したり因みに當國にて聞く所に依れば日本人は瑞典のマッチ製造方法を横取りしたりとの事にて今日にては新嘉坡邊の市場にて日瑞兩國のマッチは互に相衝突し競爭すと云ふ。

內亂の發展と國際法（五）

法學士　蜷川新

一　內亂と國際法

（二）要論

國家の獨立は事實なり恰も私法上に於ける人の出生の如し國家の獨立は領土人民竝に確實なる政府とに依り完全に成立す、然れども唯だ單に事實として獨立あるも之れを以て直ちに國際法上の獨立國家なりとなすこと能はず蓋し是れ國際法は文明國間に行はるゝ法規にして新國家は國際法規の拘束の下に生存する諸國家の共存團體に入りて初めて國際法上の國家たり得るものなるを以てなり、即ち事實上に生存したる國家は國際法上の國家たり人格者たらんが爲めには國際團體の承認を得るを要す。

國際團體の新國家の承認は、永久なり絶對なり、取消す事を得ざるものにして此の承認に依りて新國家は國家として國際法上の人格を有し國家として國際法上の權利を享有し之れを行使することを得るものなりとす。

（五）交戰主體の承認の獨立國家の承認との關係

交戰主體の承認は前述の如く一時的にして取消す事を得又其の權利主體たるは戰時法上の權利主體たるに止まるを原則とすれども獨立國家の承認は之れと異り前述の如く永久的なり絶對的なり又取消す事を得ざるものなり。前者は一部的權利主體たるが故に汎く國家としての國際法上の權利を享有し之れを行使することを得ざるに反し後者は國際法上一切の權能を有し之れを行使する事を得るものとす但し條件附獨立承認の場合は勿論之れに依らざる可らざるなり。

二者の性質は如斯差異あり從て二者は之れを同一に論ずることを得ずして又現今の國際法上の法理として之れを同一に論せざる可らざる理由なきなり。

今日の國際法上に於ては交戰權の主體として國家竝に交戰主體を認む故に國際間に時の事情に依り獨立國家又は交戰主體の發生したる場合に當りては各々之れに國際法上別種の人格を認むるも亦何等の奇なく又何等の矛盾なし交戰權は『獨立國又は獨立國に等しき資格あるものにして始めて之れを行使する所なり故に既に交戰權あるを認めて未だ獨立を認めざるは矛盾に屬す』となす說の如きは現今の國際法上交戰權行使の主體に前述の二種ある事を顧みずして論斷せるものにあらざるなきか（前號本雜誌一六八頁參照）。

尚ほ內亂の發生したる場合に於て、其の發展の情態如何に依りては先づ交戰主體の承認あり次て獨立の承認あり得可く又交戰主體の承認のみに止り獨立の承認なき事もあり得可く、又或は直に獨立承認の生ずる事もあり得可く是れ前揭實例に於て述べたる所に依りて明かにして交戰主體の承認と獨立の承認とは同時同體を必然とするものにあらざるなり（國際法雜誌より）

外事一束

▲英帝　印度よりの歸途埃及蘇丹を訪問し蘇丹總督回々教徒導師會長等歡迎す

▲瑞西　國民獨帝が今秋大演習に參列の爲め同國を訪問せらるゝを滿足すと

▲伊土　休戰の議露國外相に依り唱へられ列國斡旋するも土國は斷然拒絕す

▲伊國　艦隊マルタに於て印度より御歸國の英國皇帝皇后兩陛下に會見せり

▲玖馬　大統領米大統領に對しパナマに於て各政黨重立と會見の結果島內の一致を確立し得べしと證言す而も玖馬大統領は依然挑戰的態度を固持す

▲英國　に大吹雪起り國內各所に於て交通杜絶し遭難船舶數亦尠少ならず

▲佛國　首相上院に於て一場の演說を爲し政府は摩洛哥國を保護國とすと說

梁川庄八

第八十四回　小金井蘆洲演

萬『それぢやもう一盃御馳走になりませう　仲『何盃でも宜いほど飲んで行け　萬『餘り喰い醉うと又韮崎までは大分道程もありますからな、ぢやあまあ勇氣を付ける爲めに、もう一盃、と二盃目を三口四口に飲んで　萬『あゝ宜い心持に醉ぱらつた、旦那今夜は宜い目が出ますぞ、お金坊又來るよ　『親分お歸りですか　萬『うーい親分とは難有い以前は是れでも堅氣の百姓だつたが、今は斯うして博奕渡世をして居るので、お前達まで分親と云て呉れるかこんなでも博奕打と見へるか　『見へるたつて、見へないたつて貸元さんの樣ですよ　萬『然うかな追々身体に箔が付て來たと見へるな……ぢやあ旦那明朝歸つて來ますせ』と仲藏に會釋して其儘二階から降りて和泉屋を立出でましたのは、もう彼此れ夜の五ツ過ぎの頃ひ、眞直に行く韮崎道八丁畷の松並木まで掛つて來まする　萬『あゝ宜い心持に醉つたまあ何だ斯だと云つても難有へやなあ、名主の息が掛つて居ればこそ人も俺に一目も二目も置て呉れる、しかし無なりや野郎の懷を切ちやあ十と二十の金は何時でも持て行けるし、まあ何うか斯うかぼろを出さずに、是までは仲間の交際をして人に親分の、親方のと云はれるため難有へ思へば俺は運の好い惡黨だ、天道樣は度々御目こぼしを爲て呉れるしだから惡黨は廢められねへと云ふのだ』と獨言を云ひつゝ掛る並木の眞中待てつと一聲掛つた、はつと驚く途端六尺餘りの大の男がぬつと現はれ出で、萬八の腕首取つて振上げた萬『旦那何でげす』侍『神妙にしろ』と大地にドッと組敷いて早縄掛けし其有樣、眞に寸毛の隙もございませぬ、有繋の萬八も敵し兼ねて爲すがまゝに打任せて居る、往來中では通行人の妨げとする〳〵と引摺り行きて芝生の土手に引据へた、其者を誰とや云ふに之れ別人ならず、即ち梁川庄八でございまする、頭へ上つて



萬八は萬『旦那何でがすか　庄『ウ……駒ヶ瀧の萬八だな　萬『へー　庄『御用……つたのじや　萬『へーエ　庄『代官の御下知で其方を召捕つたじや　萬『ハーあ如何云ふ譯で私にお縄を掛けたんでげす　小哥あ賭場ぢや度々其筋の御厄介になりましたが、往來中でまだお縄を戴いたことはごせへませぬ　庄『默れ……貴樣は仲藏に頼まれて勇吉の親を殺害した覺へが有ろう有体に白狀しろ、上には夫れ〳〵證據が揚つて居る』ぞ萬八は吃驚したが左あらぬ体にて　萬『いーゑそりやあ仙臺の膏藥賣才助と云ふもので、今御吟味中近日御刑處に就くと云ふ噂でございます　庄『いや一旦は否藥屋の才助が疑念を受けて、其筋の吟味まで受けたが才助の身に一點の曇りあるに非ず、近々の中に青天白日の身となる筈である、そこで乃公共は種々探索の末其方が野村仲藏の依頼を受け八月二十三日の夜長左衛門を殺害したる其證跡判明致した　萬『へーい　庄『へーおやない其方が野村仲藏の頼みに依つて長左衛門を殺したに違ひない、野村仲藏は先刻和泉屋に於て手當に成つた、只今頃は松村五太夫の陣屋に於て笞尻の二三本も喰らつて居るで有ろう此方は右代官松村に牒合せ其方が今晩韮崎の新右衛門の處に博奕打に行くと云ふことを探索して此街道に網を張つて汝の來るのを待受けて居つた汝の罪跡最早遁れぬ處有體に白狀しろ　萬『へー何知らねへ何と被仰ても小哥あまだ人殺しの兇狀持ぢやごせへません、覺へのない事は旦那そりや貴下の惡推量と云ふ者でせう……　庄『默れ何と云つても遁れんぞ本人の野村仲藏は今頃は最早白狀して居る、天網恢々疎にして漏さず上には自から上の眼鏡が有るぞ、一度斯うと突留めたからは何から何まで探索が行屆いて居るぞ、只今其方が和泉屋の二階で仲藏から二十両の金を借りた事まで皆上の御帳に附て居るぞ　萬『ゑつ』　庄『それを人が知るまいと思つて居るのは其方の愚なる所最早遁れぬ有体に白狀しろ如何に強情を張つても仲藏が吟味を受けて白狀したからは無益のことだ仲藏は發頭人貴樣は其相棒痛い思いをする丈損では無いか寧ろ白狀して慈悲を願へ……　萬『知らねへ　庄『澁太い奴ぢや白狀せんければ斯うするぞ』とぎゆつと兩の腕を捩上げる　萬『あ痛た〳〵　庄『斯くまで利害を諭しても白狀せぬとは親分の親方のと人に崇めらるゝ俠客にも似合はぬ卑怯未練な奴　萬『何ですと卑怯未練

東京電報

●帝國議會開會　廿三日上下兩院本會議を開催し西園寺首相の施政方針演說内田外相の外交演說ありたり

●内田公使轉任　伯剌西爾駐劄公使内田貞槌氏は瑞典諾威公使に轉任せり

●日本商人殺さる　山東省膠州に於て日本商人六名殺され形勢不穩に付水雷艇同地に出動せり

●對清態度一變　政府に於ては從來の對清態度を改め君主或は共和孰れの政體にも關與せず專ら平和を希望することに決し又一方山縣井上桂の三元老も協議の結果内閣と意志疏通し政府不干涉に一致せりとぞ

●獨革軍に秋波　官軍を助けて革命軍の惡感となりつゝありし獨逸は講和破裂し北伐軍出動等の爲め彼に對し支那政府援助を一轉し只管革命軍の歡心を買ふに努めつゝあり

●革軍益々優勢　二十一日漢口軍部南京在最上總長の報告によれば二十日未明より朝八時半迄に約二千の革命軍數隻の兵艦に搭乘し陸兵器軍需品を停車場に運搬し又朝十時南昌府約一千の兵入門其他彈藥馬匹等を備へ北上の途に上れりと

芝罘特電

●北伐第二軍上陸　十七日呉淞を發したる四隻の招商局汽船は第二北伐軍二個旅團及軍需品を滿載し二十日朝芝罘に入港し直ちに陸揚を開始したるに陸上より竹砲を鳴して歡迎し右兵員は東南峯に宿營せり

北京特電

●革命政府と列國　南京政府は其承認を六ケ國政府に求めしも北京に於ける皇帝の退位無き限りは列國も直ちに之に應ぜざるべしと

●革軍上陸開始　芝罘に發泊せる革命軍の軍艦より二十二日陸兵北伐軍隊の上陸を開始せりとの報達せり

●獨逸海兵芝罘着　二十一日芝罘より電報によれば獨逸の海兵は某艦船にて十九日芝罘に着せしも兵員及び其の目的地は不明なり

●滿朝派の密謀　鐵良、溥偉等滿朝維持に熱中しをる一派は袁世凱の權力集中策を觀破し時至らば袁を斃さんと密かに謀議しつゝあり

●退位未決と袁　袁世凱は皇帝退位の荏苒決定せざるを焦慮し終に宮室に向つて若し退位にして決行せられずんば故山に歸臥するの外なしと發言せり

雜報

●總督府豫算綱要(一)　明治四十五年度朝鮮總督府特別會計豫算綱要左の如し(二十三日總督府發表)

(一)歳入歳出　明治四十五年度朝鮮總督府特別會計豫算額は[illegible]三三二、三三二圓△臨時部(追加額四十五萬圓を含む)二六、[illegible]圓△合計五二、八九二、[illegible]四十五萬圓を含む)三[illegible]九〇圓△臨時部二二、[illegible]圓△合計五二、八九二[illegible]額なり歳出總額五千[illegible]二百九圓に對する財[illegible]の歳入二千六百七十[illegible]二圓公債募集金千二[illegible]百四十圓前年度繰入[illegible]三百三十七圓合計四[illegible]百九圓及一般會計補[illegible]圓を以て之に充つ尚[illegible]別會計に係る歳入歳出四十五[illegible]源を計上したるもの

東京電報

●宮中の御歌會　本日宮中に於て新年御歌會を行はせらる

御製

あさつくひ豊さかのほる山松の木末をしめて田鶴そなくなる

皇后陛下御製

巣こもりの雛の千代をもさゝくとやみかきの松に田鶴のなくらむ

東宮殿下御製

小松ばら末はるかにも聞ゆなり友よびかはすひな鶴の聲

東宮妃殿下御製

やま人のせてかへりし田鶴ならむつはささめて松にいこへる

(二)歳入の増加　明治四十五年度歳入の豫定額は經常部二六、七三二、三三二圓△臨時部二六、一五九、八七七圓△合計五二、八九二、二〇九圓にして之を前年度歳入豫定額合計四八、七四一、七八二圓に比較すれば四、一五〇、四二七圓を増加す今之を經常部に區別し増加を生ずる内譯を示せば

經常部の増加二、六六四、七四九圓△租税の増加四五一、〇一九圓(内)△地税二七、五七四圓△戸税一九、八七八圓△酒税及煙草税二二八、四四一圓△關税四一七、七八一圓(但關税は逐年貿易の發展に伴ひ前年度に對し八十六萬七千七百八十一圓の増收ありと雖米水産物、鑛産物、木材及肥料等の移輸出税を廢止する爲め四十五萬圓を減ずるを以て差引本項の増加を見る)鑛税九、二二一八圓△印紙收入及雜税五一、八七三圓▲家屋税鑛業令の増加八五、三三六圓(是は會社令漁業令の發布に依り是等に伴ふ増加なり)驛屯賭收入の増加九、七六一圓△官業及官有財産收入の増加一、一二一、七〇八六九圓(内)△蔘業收入二八四、〇〇二圓(是は紅蔘製造高増加に伴ふ増加なり)△鹽業收入二二五、六五一圓(是は鹽田築造の竣成に伴ふ増收なり)△平壤鑛業所收入九三、五〇一圓(是は採炭量の増加に伴ふ増收なり)△郵便電信及電話收入四三五、四五六圓(是は通信事業の發展に伴ふ増收なり)△鐵道收入一、四二七、八九一圓(是は既設線事業の發展滿鮮連絡運輸及新設線開通等による増收なり)△水道收入其他一一六、三五四圓(是は水道使用者の増加及度量衡器の賣掛高増加等に依る増收也)△印刷局、煉瓦及土管工場收入及森林益金八一、七九七圓△醫院收入及(醫院特別會計を別途の經理に移したる爲)二三〇、一八七圓雜收入の減五二、二三六圓▲臨時部の増加一、四八五、六七八圓△公債募集金受入の増加二七二、三四一圓(是は公債支辨の經費増加の爲め之に伴ふ財源を増額したるに依る)△前年度繰入金一、二一三、三三七圓(是は前年度歳計剩餘金中より繰入るゝものにして本年度に於て初めて計上したるもの也)補充金は千二百三十五萬圓にして前年度に比し増減なし

●徵税總額　京城税關　京城税關出張所に於ける昨四十四年一月より十二月末日までの徵税總額は關税四十八萬〇五百七十一圓九十四錢雜收四千八百三十四圓九十錢計四十八萬五千四百六圓八十四錢にして之れを前四十三年一ヶ年間の關税三十六萬二千〇六十五圓九十七錢雜收入千百〇七圓六十四錢計三十六萬三千百七十三圓六十一錢に比較するに總額に於て十二萬二千二百三十三圓關税に十一萬八千五百餘圓雜收入に三千七百廿七圓余を何れも増加し居るが其の雜收入の如き昨年は種々の事件ありし爲め其の收入額の多きは異例とするも關税の増加は昨年度の總貿易額増加に比例するものなりと

●京城牛皮と輸移出　京城より毎年大阪に移出する牛皮は約五十萬斤なるが昨年六七月頃より内地製品のハケ口良好となりしため從つて價格も騰貴し昨今の相場は田舍皮百斤三十七圓京城皮四十二圓なるが本年に入りてよりは稍や下落の傾向ありといふ而して昨今京城に於て生産する一日の斤量は千五百斤にして内七分は支那に輸出し三分は内地に移出せるが京城皮は大皮なるを以て田舍皮に比し賣行極めて良好なりといふ

●荒蕪地と杞柳栽培　朝鮮の河川沿岸には年々出水の爲め農耕地とならざる荒蕪地は多大なるが之れが利用として杞柳の栽培は適當なるべく慶尚北道内各所にては既に之れに着手し其成績は極めて良好にて年二回の收穫を得植付後六七年目の最盛期には百貫以上を收め得べく之れを行李籠等の製品となすは冬季農閑を利用するものにして農家の特用作物としては好成績を得べき有望なる事業なりといふ

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一懸賞金壹百圓

右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一當選論文の決定は本社爲鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一應募締切期限は來る三月一日とす

一當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし

一但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事

一應募論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記　本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●道内務部長醫院參觀　各道内務部長は二十一日總督府醫院を參觀し内森安博士室谷荒井坂井等各博士より内外科皮膚科耳鼻咽喉科眼科小兒科等に於ける標本其他治療上の說明を聞き各病室其他手術室炊事場及び附屬醫學校等を巡覽し藤田院長より午餐の饗應を受け午後四時過退散せり

●東拓の柞蠶林買收　東拓會社にては豫てより柞蠶飼育林造成の爲め民有山野を買收しつゝあり買收の山野は多くは櫟、柞樹等にて保護其の宜しきを得ば人工を要せずして完全なる柞蠶林となるべく已に最近迄に買收契約を了せるものは七百五十町歩にして此の價格六千七百餘圓なりといふ

●獨帝の誕辰祝賀　來る二十七日は現獨逸皇帝カイゼル陛下の誕辰日に付當地獨逸領事館にては同日午前十一時より十二時三十分迄祝賀を受る由

●寺内總督微恙　寺内總督は微恙の爲め二十二日の貴族會發會式にも臨席せざりしが今一兩日間官邸に引籠り靜養すべしと

●總監東上期決す　山縣政務總監は行政整理に伴ふ官制改正案を携へ桑原秘書官隨行來る二十六日午前九時三十分南大門驛發東上の事に決定せり

●憲兵隊副官會議　憲兵司令官明石少將は來る三月上旬各道憲兵隊副官を召集し會議を開く由

●民會決議認可　民會の可決に依り民團役所より府尹を通じ京畿道長官に認可申請中なりし民團役所隣接地

●仁川商議各部長撰擧　仁川商業會議所にては豫て商業部工業部理財部運輸交通部の四部を設け各部長の撰擧投票を行ひ商業部長に奥田貞次郎氏工業部長に島田房太郎氏理財部長森常吉氏運輸交通部長に新庄清一氏當撰す

●長官會議休會　廿三日火曜日長官會議開會の定例なりしも總督微恙と政務總監以下各部長官下仁のため休會となりたり

●苗樹需要激增　近來朝鮮農事の改良發達につれて桑樹果樹苗其他特有農作物の苗木を需用し之れが栽培耕作を試むるもの漸く多く朝鮮勸農會社にては之れが要求に應ぜん爲め纛島勸業模範場附近の所屬苗圃にて杞柳菓樹專門の苗圃を經營し苗木十五萬本を得又た龍山所屬苗圃に於て桑苗十二萬本を養成したるが何れも需要者夥しく殊に桑苗の如きは十二萬本の生産高に對し注文數十七萬本に上り會社にては尾張埼玉兵庫の各地より桑苗を移入し以て其の不足を補ひたる有樣なるを以て更に昨年は苗木生産時に於て果樹百五十六萬本桑苗六十萬本實生苗百二十萬本の栽培を試みたるも尚ほ愛知兵庫四國埼玉の各縣に渉り各種苗木三百餘萬本を購入せざるべからざるに至りたるを以て尚ほ今春は桑苗二百五十萬本果樹苗三十萬本を養成する計畫なりと

●甘藷栽培獎勵効果　忠清南道廳にては甘藷栽培の普及獎勵を圖る爲め管内洪州保寧禮山天安恩津鴻山の各地六町五段五畝歩に甘藷苗床を新設し郡廳員監督の下に日鮮人農事熱心者を管理人とし苗床設定及び種藷埋伏の際には道廳より技術者を派し各管理人に實地指導することゝし昨年各苗床に十八貫五百目宛即ち一千二百貫目の種藷元氣を埋伏して十二萬六千餘本の成苗を見之れを苗床に移し三萬二千餘貫一貫目三錢宛と假定して九百八十二圓餘の收穫を擧げたるが而も其の種藷の價格は僅かに八十四圓に過ぎざるを以て種苗の配付を受けたる千三百餘戸の農民は何れも甘藷栽培の容易なると其の收益多きを知り大に之れが栽培に希望を抱くもの多きに至りたるを以て道廳にては更に明年度に於て熟達せる管理者を置くと共に各實業傳習所附屬桑園の一部にも亦種苗圃を設け日鮮農民にして苗床を設置し農民に苗を配付せんとする者には特に獎勵金を與へて益々甘藷栽培の普及を計ると

●東拓の植林事業　東拓會社にては四十三年以來國有山野を調査し爾來調査の結果之れが貸付を申請せしもの黄海道に九千百二町四反十四歩京畿道に六百七十四町九反十一歩合計九千七百七十七町三反九畝二十六歩にして右の内許可の指令に接したるものは黄海道延安郡の三百九十三町八畝十六歩なるが右許可山野に對し會社にては直ちに植林に着手し昨年中を以て殆んど全部植苗したりといふ

●古城醫會の例會　二十一日午後一時より朝鮮醫學會京城支會の第三例會を總督府醫院醫學講堂に開き有益なる左の講演ありたり　耳茸に就きて(森田滋賀査氏)猩紅熱に就て二三の報告(丹羽藤之助氏)慢性腎炎に來る出血性素質に就て(古城貞氏)所謂抱有性膜淵眼に就て(醫學士宇野卯一氏)先天性外聽道閉塞並其内耳の解剖的所見(醫學士阪井清氏)ヒステリー性熱候に就て(森安醫學博士)

●店員彰表と來賓　既報京城商店々員表彰は二十五日午後一時より京城商業會議所に於て擧行のことに決定せるが當日は菊池商工局長人見商工課長檜垣道長官大庭府尹古城民長及び會議所議員新聞記者約六十五名臨席すべしと云ふ

●鐵道局長官に金盃下賜　鴨緑江鐵橋架橋に付て技師其他に叙勳ありし事は既報の通りなるが大屋鐵道局長官及び小城同局技師に對しては金盃一箇づゝを下賜せられたり

●岡崎代議士の入京　政友會の代議士岡崎邦輔氏は廿二日夜滿洲より入京天眞樓に投宿したるが廿四日午後十時出發歸東すべしと云ふ

●永瀧總領事の入京　永瀧間島總領事は歸朝の途次管内鮮人の狀況等を寺内總督に報告の爲め二十二日入京淺野長七氏方に滯在中なるが二十五日頃出發歸朝すべしと

●今井忠雄氏嚴父逝去　元朝鮮日々新聞主幹たりし今井忠雄氏の嚴父臥雲氏は去る十八日逝去二十日伊豫宇和島金剛山にて葬儀執行せらる因に今井氏現住所は宇和島一の宮下なりと

●京城府徵税課文書件數　京城府廳徵税課四十四年度一月より十二月迄の文書取扱件數及び賦課徵收事務件數を聞くに文書取扱十二萬二千〇六十四件賦課徵收事務十七萬二千八百二十一件なりと云ふ

●記事解禁(禁止事項)　朝鮮總督府官制改革行政整理に關する記事は其筋より掲載を禁せられ居りしが廿二日總督府にて行政整理及び財政整理綱要を發表せしと同時に右禁止は自然解除となりたる旨警務總監部より通告ありたり

●飯泉幹太氏の出發　朝鮮銀行の飯泉幹太氏は此程同行大邱支店長を命ぜられ二十四日家族同伴任地に向ふべしと云ふ

●愛國婦人會の水兵接待　第一艦隊下士卒二千五百四十七名は二十日より二十三日に至る四日間見學の爲め順番入京したるが愛國婦人會朝鮮本部にては例に依り景福宮構内に湯呑所を設け湯茶煙草の接待をなしたり

●民團學童の軍艦參觀　京城民團立鐘路高等小學校生徒及び日の出町尋常科六學級生徒一同は二十三日教員の引率の下に仁川入港中の第一艦隊を參觀し即日歸京したり

●龍山の愛婦新年會　龍山鐵道局側及民間側の愛國婦人會員は二十日午後六時鐵道倶樂部大食堂に於て新年娛樂會を催したるが會員及家族等四百餘名出席種々の餘興ありて極めて盛況なりし

●私立學校現在數　客年十二月末日に於ける半島現在各私立學校總數を聞くに一般普通學校一千四十七校の外宗教に關する學校六百七十七校にして合計一千七百二十一校なりと云ふ

公人私人

▲岡崎邦輔(代議士)　天眞樓へ

▲小山七郎(春川農銀支店長)　浦尾旅館へ投宿

▲小鹿島饒(開城農銀支店長)　山本へ

▲西村延次郎(釜山民團助役)　二十日入京不知火旅館へ

▲京城手形交換高▼

一月	金額	枚數
廿三日	一四〇、九二八、三一〇	六四三

▲治外法權▼

マサカ時候のセイでもあるまいが、此頃は落成式とか發會式とか云ふのが幾らもある、ソレで落成式には帛紗が附物とあつて、鴨緑鐵橋以來、東拓、鮮銀などが、來賓に向かひ、廣告入の帛紗を配つて居る▲或人の曰く、僕は景物帛紗が大分溜つたから、之れで長襦袢を作り、愚妻に着せる積りだと、此話を聞附けた人々の曰く、ナル程ソレは好い思付きだ▲トコロで僕等も一トつ實行しようと、此事を妻君に告げると、妻君の曰く、ソりやあイケマセン、イケマセン、ビールや醤油の廣告帛紗は本物ですが、東拓や鮮銀のには、大分マゼものがあります、論より證據サワツて御覽なさいと▲ナル程ソウ云はれて見ると、市原式宇佐川式が帛紗にまで發揮してある、恐れ入り奉つて一言もなしだ▲二十二日又もや一枚の帛紗に有附くべき希望を有して朝鮮貴族會館の發會式へ列した、流石は雲上人の團體、廣告帛紗などは配らなかつた、其代り時間をヌル大分ムダにされて、揚句の果に例のオ。ヌル演說を長々と拜聽せしめられた▲一体日曜か土曜でない普通の日に、午後の一時に急がしい人達を招ぶとは餘りに考なしだ、浮世には極めて緣遠く、時間た構なしの雲上人等はイツも日曜か土曜ダロー、併し急がしい人達には迷惑な話で、銀行業者や警務總監部の人達や新聞記者などは雲上人のお附合には餘程マイツタ樣であつた▲本社の半島鑛業振興策懸賞論文募集につき下に一言す、曰く、社告にもある通り、本懸賞に當選すべきものは文章の巧拙を問はずに策の良好を主とする、假令ば文章はいろはでも片假名でも乃至羅馬字でも構はぬ▲ソレカラ鑛業を種別すれば、金、銀、銅、鐵、黑鉛、石炭、其外何でもを、一シヨにしても亦た別々にしても構はぬ、要はドウしたなら、我半島の鑛産物を増加せしめ得るかと云ふにこそはある。

●一生懸命な一奴

▽質屋は九丁目に限る

野暮と云はうか几帳面と申さうか南山町四丁目と斷る迄もない花月樓と云ふ青樓ありは情け無いの峠の絶頂、此れや此の知るも知らぬも大坂南區難波元町三丁目七十番屋敷濱田安三郎の長女に濱田ふさと申して當年二十一歳の花盛りの娘ありと申すと氣の早い泥棚街ッ子、娘あつても無くつても宜いぢやアないか夫れが俺達に何の因緣があるんでわと山犬に向つて棒片を振り上げたと同樣直ぐに食つて蒐られるかも知らぬが總て物事には順序あり人間には男女ある長女と云ふは總領の女の子で次男が二番目の男の兒とキッパリ決つた世の中の事は知つてる丈は鄭寧に申さぬと夫が又應んな間違になるかも知れず念には念を入れといろは歌留多を其儘に原籍を洗ひ上げたも實を申すと假令同人が靜陽軒からの歸り道醉つた紛れにアノ谷底へ足踏み辷らして其儘、お芽出度ならうとも區役所の手に假埋葬の恥を新聞に曝さぬ樣と遠きを慮つての長々しい前書は先づ此れ迄として其の濱田安三郎の長女のふさこそ何を隱さう花月樓にて評判の一奴、彼の埼玉縣書記官から大坂府參事官靜岡縣知事から地方局長内務次官と鰻上つて現は東洋拓殖の副總裁として何にもせずに一萬何千圓かを點頭もせずに頂戴なさつて居る**吉原三郎**君とは涎を流す交情なることは屢々報道したる事にて耳新らしき事ならねど夫れ其處に物には順序あり故を温ねて新らしい情人を知る、今も申す通り一奴は何分本年取つて二十一歳で吉原さんの二番目の孫のお嫁さんと同じ歳なれば珍らしい初めの間こそ兎に角なれ長く續かう道理なく次第〳〵に遠ざかり行くに大に考へた一奴成程約束には他に旦那は取まへんとて**一ヶ月八十圓宛の小使錢**に不自由はなけれど十二の歳から南新地の富田屋で鍛ね上げた腕の一奴としては胞衣會社より本願寺の方へ近い吉原さん一人を守つてることは朋輩に對しても意氣地が無い樣に思はれてならぬに彼れか此れかと秋波と誘ふ水を調合して逢ふ人毎に打つ掛けて試るが義理堅い人の多い世間の事とて一奴は吉原さんの女と承知して手を出さぬに焦れつたくはあれど其處は女の悲しさ豈夫自分の方から手を出す譯には行かずまゝならぬ世の味氣なさを喞ち續けて居ると此事を風の便りに聞き付けたのが本町九丁目に質商を營む**大橋清三郎**君天の與へと打喜び早速曳人はヨボながら護謨輪の人力車に跡押つけて一奴を名指しの御遊興も初めの二三回は至極淡白と双方の駈引き寸分の隙もなく以心傳心の『お前に吉原さんと云ふ人がなければ世話をして見たいけど』と入れた探りを心得たりと咽喉から出した手で引つ摑み『彼樣糵老爺なんか遠ッくの昔振り飛ばしたのよ……だからさ、だからさつて云ふのにさア』と一奴一生懸命に取逃す可らずと運動した甲斐あり情約成立に及んでからと云ふもの朋輩を捉へて『**質を置のなら九丁目迄**、少しは遠くても利息は安くさせるよ』

●他眼を忍ぶ雜貨商

▽一皮剝げば淸商の妾

仁川京町三丁目の鮮人部落の中に只た一つ日本人雜貨店あり鮮人相手の商賣をなし居るはアノ附近を通る者の皆な知る處なるが此の家の主人と云ふは原籍大阪南區難波生れの花岡はなと云ふ五十餘りの婆さんに娘のたます(二三)との二人暮しなるより倚更人目を惹き不審がるものあるも無理ならず然るに近頃其無理ならずを通り越した或る野心家が探りを入れて見ると毎晩八九時頃になると裏口から丈けの高い男がノソ〳〵と這入るのを認めたるよりコレぞ必定娘の智ならんと察したるに倚樣子の合點行かざるより詮索したる處其の男は支那町居住の淸國人某氏にてたますは彼の妾となり居るなりと知れ斯はどの逢瀨の場所に居なりと扨こその男禁制

●辰市辯護士喚問さる

▽新聞記事に對して辯解

野村祐治氏より西村義之に對する株式賣買精算金請求訴訟事件に付辯護士辰市本丸氏が不德義の行爲あり其後被告代理人永井道忠氏事件の全部否認せしより原告代理人より辰市氏を喚問申請して許可せられし事は既報の如くなるが該事件に付辰市氏は二十二日午後二時より京城地方裁判所民事法廷に於て横田裁判長に訊問せられしが同人は宣誓と同時に訊問前に本紙辰市本丸喚問さるとの記事に辯解を初め辯護士として仲裁したるになく親族の關係より私人として仲裁を爲し又西村を教唆して逃がしたるにあらずして當時自分は鄕里に不幸ありて歸省中西村は逃走したり云々と原告に利益の證言を吐きたれば被告代理人の否認も水泡に歸したるが何れにしても面白からぬ所爲と云ふ可し

●天理教の春季大祭

▽附婦人會第二回總會

奈良縣丹波市町天理教會本部にては本月二十八日例年の通り天理教春季大祭並に同婦人會第二回總會執行するに就ては鐵道院は名古屋、大阪、和歌山京都間各驛より丹波市驛に至る本月廿日より同廿八日迄九日間、關西同盟滊船會社は中國各港より神戶、大阪間に於て同期日間有効の往復割引切符發賣する殊に朝鮮よりも多數團體にて列席する由なり

●釘本氏四十四誕生宴

▽本年は好運だと

釘本藤次郎氏は其四十四回の誕生日を祝うに兼ねて新年宴會を二十二日の夜花月に開いた會するもの三十餘名古城民長今村署長杯悉く同氏の朋友である席定まるや釘本氏は起ちて大要下の如き挨拶を成した『昨四十四年今月今日の粗宴の席上秋本氏は私の爲めに大に前途を祝福して呉れられましたが然るにも係はらず不幸續きで御座いました民會議員には落選し製艦會社は目論見て未だ成らず取引所は不認可となると云ふ風でした、私が今日迄此年には自宅に火事がありましたけれども大變に運の好い年でありました、自宅に火事があることが好運の徵と申す次第もありますまいが緣起と申すものは妙な者と思ふて居ります矢先き本年は早々に自宅に火事の卵がありましたから三十七年同樣極めて好運ならんことと思ふて居ります云々』と之に對し古城民長の祝辭があり終つて紅裙斡旋の間に歡を盡して散會した

釘本藤次郎氏
四十四の春を迎へし

●板を背負つて警察へ　二十二日午前一時頃西大門分署の巡査補が南部盤石坊運池洞附近を密行の際松板を背負ひたる擔軍夫が徘徊するを認め引捕へて訊問したるに斯奴は住所不定の擔軍夫張慈榮(四二)なる者にて同洞材木商朴泰慶方の雇人申英市と共謀して朴方より松板八十枚を竊取せる旨自白したるが申は此時早も風を喰つて逃走したれば張を引致し取調の上昨日檢事局に送る

●強盜とは自分の事　元南大門通り一丁目雜貨商淸國人德與源方雇人淸國山東省登州府生れ孫維貴(二四)が德與源方に雇れ中去る一月十三日午前九時頃主人の命を受け現金五百九十圓を漢城銀行に預入る可く當座通帳を所持し銀行に行く途中該金を旅費として浦塩方面に逃走せん事を企て該金を第十八銀行に出萬號と僞名して預入れ銅峴分署に日本人強盜二名に強奪せられし旨屆出でたるも取調の結果虛僞の申告なりし事判明せし事件は京城地方裁判所に於て横領罪として懲役四月に處せらる

●東京工科學校　目下生徒募集中の同校は昨年八月神田錦町へ移轉以來實習に要する諸機械を增設し以て從來の敎授方法に一大改良を加へしより非常の發達をなし目下の處千二百餘の學生を收容せり倚校内の實習工場は昨年中日野式飛行機及瓦斯發動機を製作し學生のため實地に就き研究せしめつゝありきと云ふ

●生年九歲の泥棒　南部竹洞金老味(九)は未だ乳臭き少年なるに是迄も本町通り各商店の店頭に陳列の商品を竊取し南部署に突出され屢々訓戒放免を受けしに又々二十二日午後七時頃本町七丁目植田元次郎方店頭にありし襟卷七筋を竊取し南部署に突出されしとは末恐ろしき少年かな

●賭博の現場を御用　宮城縣人當時南大門通り三丁目三十三番戶遠藤龜之助(三四)熊本縣人當時同居畑田又藏(三三)福岡縣人當時同居人阿部吾郞(四五)山口縣人當時南大門通り一丁目有田安兵衞(八)の四名は二十二日午後十一時四十分頃遠藤方に於て賭博の現場を南部署に檢擧され目下取調中

●十一名珠數繫ぎ　中野太平(四三)佐々木大吉(四七)杉原久吉(四四)川島末吉(三九)近藤佐太郞(三九)田中鹿太郞(三六)野田柳吉(四三)深田三代吉(三六)副直司(二九)畔津良四郞(三四)松田卯三八(三〇)の十一名は二十二日午後七時頃賭博現場を南部署に檢擧され目下取調中

●六圓四十錢で六ケ月　京畿道朔寧郡內面東邊里李樂源(二四)は舊十二月上旬黃海道金川郡蛤灘面味山里大石洞崔良市宅に押入り家人を脅迫して現金六圓四十錢を强奪し其筋に檢擧され京城地方裁判所に於て懲役六月に處せらる

●泥醉して騷廻る　蓬萊町四丁目鹿兒島縣人藤久保重次郞(三九)は二十二日午後八時半頃泥醉して米倉町を徘徊喧噪したるを南部署警官に告發され司法係りに引渡されたり

◎花柳界だより

▲雀君に一言す、褒めたからとて提灯を點ける譯ではない事實が歪く左樣なんだから事實を曲げずに書く丈の事だ、無益ざる處に嘴を入れて除計な事を喞ない▲松葉亭の照葉、木々の梢は落葉して木枯の音に懐まで寒き今日此頃燒芋のホヤ〳〵計り喰べてゐる譯にもゆかず、適には好きなお壽司も喰べたいけども、そう〳〵無心も聞いては呉れず、とても本町の一人では遣り切れぬはチーた定さんと持ち掛ける、仲居のお定例の廣島辨で左樣でガンスノーと思案投首▲井門の富美子、女には附いた病氣の爲總督府病院に入院中の處十九日全快退院し不相變昨日より今晩アリー▲海老屋の太掉勝次は或骨董屋の禿茶瓶を生捕つて、お老人さんは浮氣をしないから大丈夫よと大船に乘つた氣で昨今にては大浮かれの由、姐さんも餘程茶人だわさは妹藝妓の噂▲花月の光子曰く妾の弗旦は粹な人ぢやなくつてよ、都々一の一ツも唄へぬ野暮なんだけども心意氣が乙よと此れまた夢中の由、此夢長く覺めねば身の仕合せ▲同樓のお筆、善きも惡しきも皆勤めする身の人氣だからドン〳〵新聞に載して下さいなとは流石開化た妓の記事計りは事實無根、露覺へなき濡衣だわと非認している由、左りとは罪な事た掲載ものかな(帚之助)▲提灯ぢやないアークライトだ(鄕雀)

社告

一店員寫眞帖發刊

右は今回我商業會議所に於て勤續店員諸氏を表彰するの擧を賛し此機會に於て京龍仁各商店の店員諸氏紹介の目的を以て發刊するものなり詳細は後報すべし

京城新報社

●京城劵の藝妓芝居　議愈々熟して目下壽座に開演中の若島屋一座の振附けの下に廿四日より稽古に取掛る筈なりと詳細は次號に

●犬紛失　廣告にも見ゆる如くソンタクホテルに居る犬が紛失した見當つた方はお知らせ下さいと犬は『ドラ』と云ふ名だ、ドラ一つ探して見ようかいと探して下さい

平民文庫

▲二十日所用あつて龍山へ行つた二十一日移廳式を擧行すると云ふ龍山署の前に緣門を作へて居た幔幕が張つてある白地に淺黃の一引に鷹の羽のブッ違ひの紋のついた▲ハテと首を捻つた彼れが龍山署の定紋かしらと▲思ひながら末の方まで見て行くと同し淺黃で文字が染出してある▲曰く『吾妻樓』(風聞子)▲世間の評判にのみ聽きて中學生の退留學を決する程ならば世間に許判惡しき生徒監は速に諭示退職せしむること校長の義務ならずや(京城ユス)

(ユー)▲田中守平の所謂靈理學會の京城支部は京城にあるが本部は何處にあるのか此を知つて置かぬと跡で困る事がある▲夫れから彼の癒すと云ふ病氣の種類の重なるものは癲病、梅毒、肺病、精神病等なりと聞くが事實なりや(伝生)▲果して如何なるかを知らず然れども身分上醫者に診せられぬ病氣の有る人が多く其門に出入すと云へば世に忌まるゝ遺傳性病者がアーでもないコーでもないと凝つては思案に能はずの格で人に隱れて行くと見ゐるが御嶽樣の御祈禱同樣、大連の富籤同樣、運は自然にありだ(小僧)▲頭に白髮の星のある人は隔日に西大門の終列車より歸宅するが彼れでも監督者は知らぬ顏の半兵衞を決め込んで居るのか然もなくばパイナップのスルでも吸ふて居るのやろー(一車掌)▲此度長崎人會を催す時は廣く新聞に廣告して貰いたい合せて長崎人會事務所の處在を問ふ(長崎市人)▲馬渡三市とやら云ふ山林掛りは非常の高利貸を爲し地所家屋等抵當に取り非道に引上げ現住宅も同樣手段にて引上げたるなり云々の投書ありたるが馬渡三市なる人が果して然る非道の事を成し居るや否は不明なるも曾つて京城日報の職業何とやら欄にも腰辨即ち小役人の妻君連が内職に高利貸を成す云々の記事を見たる程なれば役人にして高利貸をして居るものあるは事實なるが如し差支へなきものにや(係)▲寺内正毅伯も愈々京城市民の一人として民團税を納附することに決したと云ふが廟堂に立つて公平な人は何處に居ても高潔な心事のものだと感心してると新聞に左樣ぢやない民團税を納めると總督の威嚴に關するからと書いてあつたが記者樣眞實ですか(憤慨生)▲私は三面の掛で其樣難かしい事は聽いて試ようとも思ひませんから存じませんが何方にしても他人が嗤はれる事なり褒められる事なりです好い加減に成さつては如何です(係)

完備せる和洋紙見本帳



菊判總クロース表紙三百餘種美麗寫眞版數種挿入

和洋紙を御使用なさる方は

如何なる紙が適當であるか？

どの位の厚さのものがよいか？

其紙の判はどの位の大さのものであるか？

は第一に御承知ならなければならぬ然るに紙を御使用なさる方にして御不案内の爲め常に御不便をなされつゝあるのである

今回弊店は一般御使用者の爲めに現時我國にて重に使用しつゝある和洋紙を一冊の見本帳とし一見御望みの紙をして發見せらるゝの便に供せんとす

價は實費の半額一冊壹圓と送料（朝鮮内地十二錢）

部數に限りあり御望の方は至急御申込相成度候

朝鮮京城南大門通三丁目

土佐紙株式會社京城支店

長電話三一五番



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

大坂瓦斯コークス並に器具一式

國定教科書 文房具販賣 仁川新町二丁目 **百崎金港堂** 電話五百八番



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話千六十八番 振替口座京城十六番



牛馬犬猫 治療所 入院隨意

京城明治町三丁目 **小川家畜醫院** 院長 小川龜太郎 (電話四二七番)



弦齋流割烹 **すし津祢** 南山町一丁目 電話千五百二番

◎一月十二日左記の處に移轉仕候

▲貸金 俸給者には無擔保にて精々便宜に融通申上候

京城旭町一府廳裏一丁目より二丁目に拔る小路 電話四五番 **高橋**

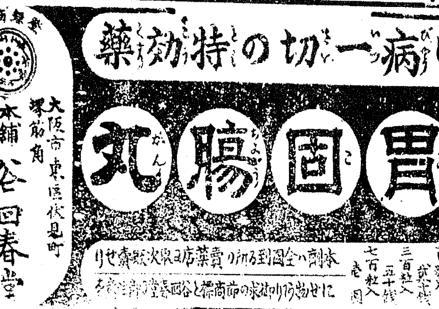
東京流納豆大安賣 諸官衙御用達

御料理向

味噌製造 漬物問屋 **たからや** 仁川本町三丁目 電話七三七番



東京市麴町區八重洲町一丁目一番地 合資會社 **櫻組製靴部** 電話本局三一六三、三一六四、振替口座東京一六五二七



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

朝鮮 補血強壯無比の珍菓

名産 人參漬 人參蜜漬 人參飴

製造元 **海市商會**

本店 京城本町三丁目（電話二五〇番）
第一支店 同 本町一丁目（電話一三五四番）
第二支店 同 本町五丁目（電話三二二番）
大邱支店 大邱元町一丁目（電話三一〇番）
木浦支店 木浦銀座通
工場 京城永樂町一丁目（電話一九〇二番）
（振替口座京城四八番）

京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 **田中友吉商店** 電話九九三

廣告

弊本店ヨリ輸入ノ淸酒各種ハ荷造製品ノ前必ラズ關係官署ニ分析試驗ヲ乞ヒ傍ラ自家分析部ニテ試驗ノ結果衞生上無害ナル事ヲ保證スル爲メ左記ノ用紙ヲ樽張商標紙ノ傍ニ貼附致置キ候間御案慮ノ上倍舊御愛顧ノ程伏シテ奉懇願候 頓首

尙富支店釀造酒ノ顧問衞生部員ヲ以テ嚴密ナル試驗ヲ致居候

若二澤宅光 羽正 翠鶴龜宗武

釀造發賣元 仁川桃山町 **宅合名會社仁川支店**

實形 藍地ニ白拔キ 巾立 三寸五分 二寸五分

フエラトーゼ 高峰博士の發見 シユミーデベルヒ博士發見 新藥 貧血 神經衰弱 疾病 恢復期の營養品として著効あり

タカヂアスターゼ

新藥は効力顯著なる胃腸劑なり 高峰博士 **類似品注意** **說明書郵呈**

朝鮮總代理店 仁川本町 仁和洋行

東京市日本橋區室町三丁目 **三共合資會社**

竹田津三平

電話 擔保貸金 月賦賣渡 明治町一丁目 電話一八四四 **ロ入業萬年社**

齒科治療 本町六丁目（郵便局橫町） ドクトル **中村安子** 女子見習募集委細面談 (電話一五八三)

入院隨意 京城壽町三丁目（電話三七八番） **中島醫院** 院主醫學得業士 **中島貞信**

滊船出帆 廣告 一月中

三省丸	蓄島行 一月廿四日前九時
安來丸	海州行 一月廿五日前六時
成歡丸	屯串行 一月廿六日前十一時
海利丸	海州行 一月廿七日前七時
三省丸	大湖芝行 一月廿一日前三時

荷客取扱所

仁川本町四丁目 電話一七三番 合資會社 **秋田商會船舶部**

仁川本町一丁目 電話七五〇番 秋田商會船舶荷捌部

仁川本町海岸通 電話四一九番 **柴田回漕店**

仁川本町四丁目 電話五二二番 山本回漕店